

うちなだ 議会だより

Vol.163

令和7年(2025)

11月5日発行



安心して暮らせる復興住宅を 9 月会議

…… 2 - 3

委員会レポート

…… 5

公営住宅建設費 3 億 1 千万円余で計上

総務産業建設常任委員会

地震で損壊の西荒屋小学校 6 億 2 千万円余で改修工事に着手

文教福祉常任委員会

内灘町総合防災訓練

…… 6

一般質問 8人が登壇

…… 7

街かどインタビュー 大正琴協会

…… 16



る復興住宅を

9月会議
9月2日～17日

地域密着型サービス施設 整備補助金 4,850万円



公募による看護小規模多機能型居宅介護
事業所1カ所の整備に伴うもの
開設予定地：旧緑台公民館跡地

小学校施設設備改修工事 484万円

鶴ヶ丘小会議室の空調設備更新

体育施設管理費

調査設計等委託料 330万円

武道館空調設備導入のため

体育施設改修工事 366万円

総合公園テニスコート等の改修工事費

公共交通活性化事業

198万円

スマートフォン等でコミュニティバスの
位置情報を確認することができるバスロ
ケーションシステムを導入する

除雪対策費 140万円

町会に対する小型除雪機購入費の支援
補助率70%
上限額70万円

公的病院等運営費補助金 1億円

救急医療や周産期医療の運営に係る補助金
補助対象：金沢医科大学病院

道路維持管理費 850万円

歩行者の防犯・安全対策を図り、信号
機・案内看板等の視認性の確保、車両等
通行の安全を確保するため。

令和7年9月会議は2日から17日までの16日間開催された。令和7年度補正予算2件、条例5件、人事案件2件など計15議案を審議し、全て原案の通り可決、同意とした。また、令和6年度一般会計歳入歳出決算認定など7件を認定、請願2件を採択、1件を継続審査とした。その他、議会議案として、2件の意見書提出を可決した。

人事案件

公平委員会委員



向貴代治氏（69歳）
（再任 アカシア）

教育委員会委員



岩本文雄氏（67歳）
（新任 大根布）

指定管理者の指定

指定期間：令和8年4月1日～

令和11年3月31日

・内灘町防災コミュニティセンター

指定管理者：株式会社 エイム

・内灘町展望温泉ほのぼの湯

指定管理者：株式会社 エイム

指定期間：令和8年4月1日～

令和13年3月31日

・内灘町サイクリングターミナル

指定管理者：一般財団法人 内灘

町公共施設管理公社

補正予算
注目事業を
ピックアップ

いそげ!!復興推進 安心して暮らせ

請負契約の締結について

工 事 名：西荒屋小学校復旧工事
契約金額：6億2,150万円
契約相手：株式会社 豊蔵組
※関連記事はP5

請負契約の締結について

工 事 名：鶴ヶ丘テニスコート復旧工事
契約金額：8,651万5,000円
契約相手：北川ヒューテック株式会社

復旧復興・防災事業

復興推進業務委託料 8,700万円

復興まちづくり計画推進支援業務（液状化対策技術検討、土地境界の明確化事業等）

公営住宅建設費 3億1,362万円

復興公営住宅建設に向けた、調査設計等委託料、土地購入費等（宮坂・西荒屋・室）
※関連記事はP5

災害廃棄物処理事業

6億8,000万円

公費解体事業 4億2,600万円

公費解体申請件数が当初見込みを上回るため
（280棟→450棟）

道路橋りょう施設災害復旧費

6億9,900万円

路線測量、消雪井戸復旧設計などに係る調査設計等委託料等

農業機械再取得等支援事業費補助金

9,135万円

対象：農業用施設及び農業用機械に被害を受けた営農継続に意欲のある農業者
内容：補助対象経費の9/10以内

防災設備整備工事 750万円

更改される全国瞬時警報システム（Jアラート）に対応する新型受信機への更新工事費

内灘海岸・放水路回遊空間整備構想の策定について

目 的…河北潟放水路防潮水門の移設工事を契機として、「内灘海岸や河北潟放水路を軸とした賑わい創出」と「交流人口の拡大及び観光振興」を目的に、回遊性を持たせた施設等の整備の実現を目指して策定する。

基本理念…人がふれあい 潮風と遊ぶ 内灘海岸・河北潟放水路

基本方針

- 方針① 回遊性やアクセスの向上
- 方針② 内灘らしさを活かしたスポットの充実
- 方針③ 賑わい創出のための取り組み

条例の改正（主なもの）
内灘町学校給食共同調理場整備基金
条例の制定について
老朽化した学校給食共同調理場の
建替に係る財源を確保するため、基
金条例を制定する。

7月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	福島誠一	中村聡	土屋克之	西尾雄次	磯貝幸博	七田満男	川口正己	恩道正博	北川悦子	夷藤満	清水文雄	中川達	南守雄
議案第56号	令和7年度内灘町一般会計補正予算(第3号)		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第57号	請負契約の締結について[内灘町消防団第一分団格納庫建設工事]		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第58号	財産の取得について[スクールバス 1台]		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○

9月会議審議議案と採決状況

議案番号	議案名	議員名	議決結果	福島誠一	中村聡	土屋克之	西尾雄次	磯貝幸博	七田満男	川口正己	恩道正博	北川悦子	夷藤満	清水文雄	中川達	南守雄
議案第59号	令和7年度内灘町一般会計補正予算(第4号)		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第60号	令和7年度内灘町介護保険特別会計補正予算(第2号)		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第61号	内灘町学校給食共同調理場整備基金条例の制定について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第62号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第63号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	請負契約の締結について[鶴ヶ丘テニスコート復旧工事]		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	内灘町防災コミュニティセンターの指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	内灘町展望温泉ほのぼの湯の指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	内灘町サイクリングターミナルの指定管理者の指定について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	内灘海岸・放水路回遊空間整備構想の策定について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	請負契約の締結について[西荒屋小学校復旧工事]		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて		同意	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
認定第1号	令和6年度内灘町一般会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	令和6年度内灘町新エネルギー事業特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
認定第3号	令和6年度内灘町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
認定第4号	令和6年度内灘町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
認定第5号	令和6年度内灘町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について		認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
認定第6号	令和6年度内灘町水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
認定第7号	令和6年度内灘町下水道事業会計決算認定について		認定	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
許可第2号	請願第4号 選択的夫婦別姓制度をただちに導入するための国会審議を求める意見書の提出についての請願の取下げについて		許可	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
請願第5号	能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める「意見書」の提出を求める請願		採択	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
請願第6号	「ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書」の提出を求める請願		採択	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
請願第7号	「消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書」を政府に送付することを求める請願書		継続審査	○	○	○	○	○	—	○	○	○	×	○	○	○
議会議案第6号	内灘町議会決算特別委員会の設置について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第7号	能登半島地震被災者の医療費の一部負担金免除の再開のための財政支援を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○
議会議案第8号	ひきこもり支援基本法の制定を求める意見書の提出について		可決	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成、×は反対、棄は議場に不在、欠は欠席、除は除斥、—は採決に加わらない

意見書の提出

※下記2件の意見書は内閣総理大臣含む関係大臣へ意見書を送付済

議会議案第7号

要旨

石川県内の国民健康保険および後期高齢者医療制度において、令和6年能登半島地震の被災者に対する医療費の一部負担金の免除を再開させるため、国や石川県がさらなる財政支援を行うことを求める。

◎提出者 恩道正博
○賛成議員 西尾雄次
夷藤 満

議会議案第8号

要旨

ひきこもりを社会全体で取り組むべき重要な課題として捉え、ひきこもり支援に特化した法制度を設け、支援体制等を明文化し、年齢や所得の状況にかかわらず、誰もが全国どこでも必要な支援を受けることができるよう、ひきこもり支援基本法を制定することを強く求める。

◎提出者 土屋克之
○賛成議員 西尾雄次
恩道正博

産業・建設・総務 常任委員会

公営住宅建設費

3億1千万円余で計上

◎恩道正博 ○川口正己 中川 達
北川悦子 土屋克之 福島誠一

9月委員会

9月委員会では令和7年度一般会計補正予算などを含む8議案が審査され、すべて可決された。

また、付託されていた請願1件は継続審査とした。

問 公営住宅建設費の調査設計等委託料の詳細は。

答 北部地区の復興公営住宅建築に係る測量・地質調査・基本設計・実施設計の費用を計上している。

問 内灘海岸・放水路回遊空間整備構想の策定にあたり、内灘闘争の歴史的遺産である射撃指揮所跡などの保存や活用についても取り組むべきではないか。

答 構想案では基本方針で「町の歴史などに関する学び場の充実」を明記しており、具現化を進める中で検討したい。

8月委員会

問 鶴ヶ丘5丁目で計画している復興公営住宅は何階建ての予定か。

答 3階建て、エレベーター設置を予定している。



内灘海水浴場の射撃指揮所跡

問 8月6日から7日にかけての大雨では町内数カ所で浸水被害があった。近年の大雨に対応できる長期的な都市基盤の整備が必要ではないか。

答 あらゆる面で防災・減災につながる事業を検討していきたい。

問 コミュニティバス満70歳以上無料パスポートの交付にあたり、役場だけではなく、地区公民館等でも交付申請手続きができないか。

答 事業開始時は役場でのみ行うこととし、その後、状況を見ながら検討したい。

福祉・教育・文化 常任委員会

地震で損壊の西荒屋小学校

6億2千万円余で改修工事に着手

◎西尾雄次 ○中村 聡 南 守雄
清水文雄 夷藤 満 磯貝幸博

9月委員会では令和7年度一般会計補正予算を含む6議案を審査し、全て原案の通り可決した。また、付託されていた請願2件も採択とした。

審査の中で、先の6月会議において予算が可決されていた西荒屋小学校改修工事の契約議案も議論された。この工事は、資材費高騰等から入札が不調となっていたが、設計単価等の見直しなどを行い再度の入札執行の結果、6億2千万円余で落札業者が決定し工事着手の運びとなった。工事が順調に進めば令和8年10月末には完成の見通しとなった。

その他、文教福祉常任委員会の審査では、次のような質疑応答等もあった。

問 障害者福祉施設に対する支援金について、良い事ではあるが、他事業所との公平性の観点から補助内容の詳細を明らかにせよ。

答 事業所からの要望書を受け、決算状況のヒアリングを行った。利用者増加に伴い職員も増員しており、120万円程の赤字が見込まれるため、地代相当額を支援する。交付要領には援助を5年以内と定めており、毎年度決算状況を確認し、総合的に判断していく。



早期改修が待たれる西荒屋小学校

問 近年は酷暑であり、熱中症対策のため、中学校スクールバス南部便を夏季も運行させるべきではないか。

答 今年度の契約金額で試算すると、6月9月の4カ月の運行で約1千万円の費用がかかる。また、小中学校生の学校給食費無償化実施や、今後の給食センター建設など大きな財政負担があるため、今後検討したい。

問 学校のプールを用いての水泳指導を各学校施設のプールでの指導ではなく、町営のプールを用いる形に一元化できないか。

答 各学校からのバス移動や授業時間の確保など課題が多い。今後検討したい。

9月28日 内灘町総合防災訓練

令和7年9月28日(日)に内灘町総合防災訓練が実施されました。

議会では令和6年6月に策定された内灘町議会業務継続計画(議会BCP)に基づき、災害時の安否確認・情報収集・議会災害対策会議設置等の訓練を行いました。



山崎副町長からの報告を受ける七田議長



報告内容を全議員に伝える七田議長



内灘町議会業務継続計画に基づき、各議員が貸与されているタブレット端末を使用して被害状況を撮影し、議会災害対策会議で情報共有・危険箇所の洗い出しを行った。

今回の訓練を通じて、迅速な情報共有、指揮系統を遵守することの大切さを改めて学んだ。

決 特 委 員 会

算 別 会

地域の活性化につながる 特色ある学校づくりを

9月10日～12日

◎中村 聡 ○福島誠一 中川 達
清水文雄 土屋克之

1. 西荒屋小学校について

改修工事が完了次第、現地での再開を予定している。西荒屋小学校の入学者数は、震災を機に減少が加速している。今後の学校運営について検討し、地域の活性化につながるような、特色ある学校づくりをより推進すること。

2. 体育施設について

能登半島地震の影響で、鶴ヶ丘テニスコート・総合グラウンドが使用できない状況が続いている。中学校の部活動に支障がないよう、代替施設等を確保するなどの配慮をすること。

3. 宅地の危険ブロック塀について

空き家等のブロック塀が傾き、通行の安全に支障をきたしている箇所が見受けられる。定期的なパトロールを実施し、所有者に対し危険なブロック塀の撤去等を促すなどの対応をとること。

4. 各種選挙の投票率向上について

近年、各選挙において投票率低下の傾向がみられる。白帆台地区への投票所の新設、商業施設での期日前投票所の設置など、投票率の向上に向けた施策を検討すること。

令和6年度決算に対する指摘事項

5. 上・下水道事業について

設備の管理を徹底し、事故の未然防止に努めること。また、町民のライフラインを守るため、安定した経営と適正な料金を維持できるよう、経営戦略の再構築を検討すること。

6. 県漁協内灘支所の棧橋等の整備について

県漁協内灘支所の倉庫・荷捌き場等は、年内をめどに撤去予定とのことだが、引き続き利用する棧橋のかさ上げや、漁具等の置き場の確保について、町として支援できないか検討すること。

7. 夕陽ヶ丘苑について

在宅介護サービスの重要性が増す中、現在休止中の「夕陽ヶ丘苑」のデイサービスを再開し、地域包括的なサービス提供体制の構築について、町として推進すべきはないか。



おししさん



令和6年度内灘町決算の概要は、10月発行の「広報うちなだNo.753」をご覧ください。



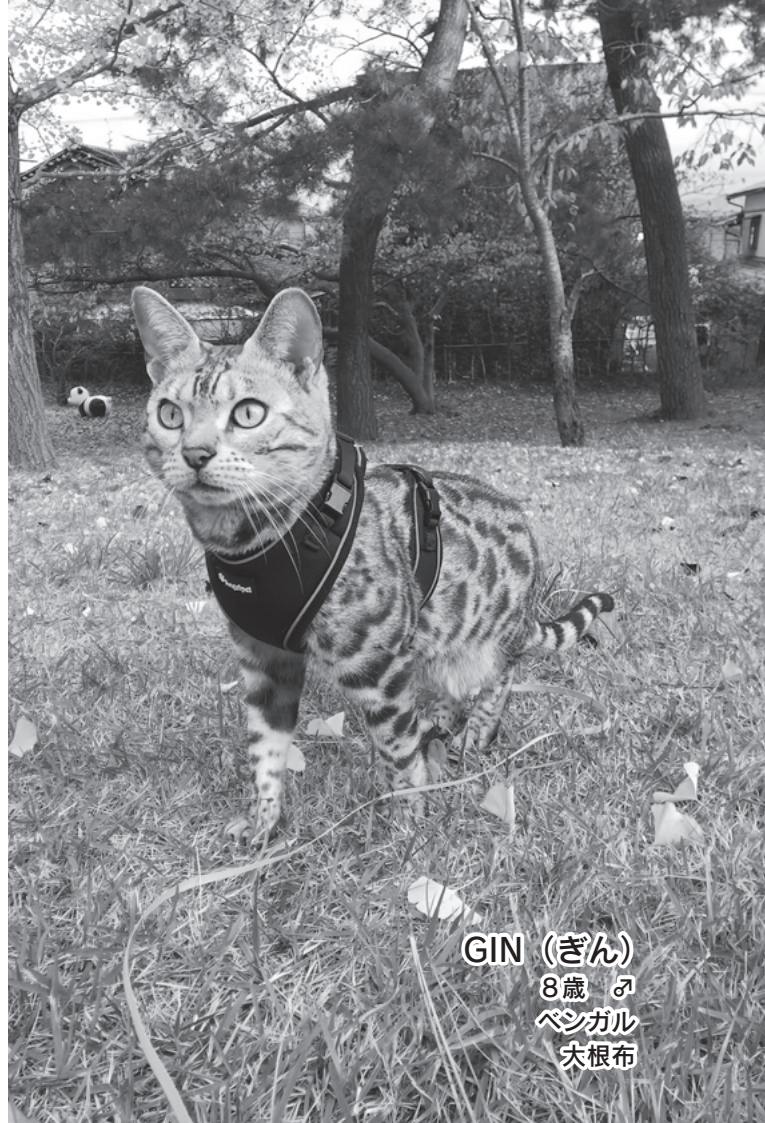
質問と答弁の詳細は町ホームページ→内灘町議会→会議録でご覧ください。

町政も問う

8人が登壇

一般質問 (9月4日)

一般質問とは、議員が町政全般にわたり、その執行状況または将来の方針、政策的提言や行政の問題点・疑問点・課題などを執行機関に問うものです。



会議録



YouTube

いそがい 磯貝 幸博	8
<ul style="list-style-type: none"> 町主体の融資制度導入を 水泳授業について 	
しみず 清水 文雄	9
<ul style="list-style-type: none"> より魅力のある労働環境を整えよ 町地域防災計画 原子力災害編 	
きたがわ 北川 悦子	10
<ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所への配慮は 志賀原発の廃炉を求める考えは 	その他 1 問
ふくしま 福島 誠一	11
<ul style="list-style-type: none"> 防災士の育成と組織の強化を 内灘海岸 多言語で注意喚起を 	その他 1 問
にしお 西尾 雄次	12
<ul style="list-style-type: none"> 被災住宅跡地での防草取組に助成策を 豪雨浸水対策に遊水地設置の検討を 	
つちや 土屋 克之	13
<ul style="list-style-type: none"> 終活関連情報を登録する制度の導入を 内灘海岸・放水路回遊空間整備構想の先駆けについて 	
いとう 夷藤 満	14
<ul style="list-style-type: none"> プール授業を民間に 8月の大雨について 	その他 1 問
なかむら 中村 聡	15
<ul style="list-style-type: none"> 町民の生命を守るクーリングシェルターを 災害用手押しポンプの設置について 	その他 1 問

題字 上野雅子さん

GIN (ぎん)
8歳 ♂
ベンガル
犬根布



いそがひ 磯員 幸博

町主体の融資制度導入を

町長 公平性の観点から考えていない

問 住民は能登半島地震で甚大な被害を受け、高齢世帯の住宅再建が困難な状況にある。復興公営住宅への入居希望は多いが、家賃負担への不安も大きい。

答 町が融資主体となる※リバースモーゲージ制度はこれまで検討しておらず、導入には財政リスクや債務管理、相続処理など課題が多い。



今後の水泳授業の行方は？



家賃支援を受けて・・・

水泳授業について

問 学校プールの老朽化と財政負担を踏まえ、教育環境の質と持続可能性を両立するため、町内の屋内温水プールの活用や利用施設の集約が必要ではないか。

答 町内小中学校のプールは一部老朽化が進み、維持管理費は年間約150万円、今後40年で約3億円の更新費用が見込まれる。教職員は安全管理や水質測定などに日々時間を割いており、負担は小さくない。屋内温水プールの活用は、安全体制や移動手段、授業調整など課題が多く、学校現場と協議を重ねて検討を進める。

※リバースモーゲージ制度

自宅を担保に生活資金を借入れる仕組み。自宅に住み続け、借入人の死亡時に担保不動産を処分し、借入金を返済する。



しみず 清水 ふみ お 文雄

より魅力のある労働環境を整えよ 7級制の導入を検討する 副町長

一般質問



町職員組合からも町長へ要望書が提出されました

問 町職員の受験者数が減少し、早期退職者が増加している。町の昨年4月1日現在の※ラスパイレース指数は93・1。全国と同規模町村の平均を大きく下回っている。近隣市町との比較でも、金沢市99・2、かほく市95・4、津幡町94・2で、内灘町は低い。通常の業務に加えて災害対応で疲弊している職員のモチベーションや、若い職員の定着率にも影響が出ている。

答 優秀な人材の確保や、職員のモチベーションを保持して早期離職や流出を防ぐためにも、給与面を含めた労働環境の適切な処遇は不可欠。ラスパイレース指数の改善で、自治体間競争力を強化し、人材確保につなげていきたい。

現行の給料体系を見直し、6級制から7級制の導入に向け、財政状況等も勘案し検討する。

答 避難所の運営体制やライフラインの復旧計画、物資・医薬品等の備蓄など、想定される被害規模の拡大を踏まえ、反映させたい。

問 県は最新の科学的知見を踏まえ、地震被害の全体像を把握した新たな調査結果を報告した。現在進めている町地域防災計画改定に、どのように反映していくのか。

町地域防災計画 原子力災害編

問 地震への備えは一人も二人も志賀原発を運転させないことだ。町地域防災計画原子力災害編作成する考えは。

答 より詳細な調査や検討が必要となる。今回の地域防災計画の修正では、これまで同様、原子力災害対策計画として作成する方針だ。今後、他市町の事例等を参考に調査研究する。



環境放射線モニタリングカーでの放射線量測定
(町総合防災訓練)

※ラスパイレース指数
国家公務員の給与(月額)を100とした場合の地方公務員の各自自治体ごとの給与水準。

福祉避難所への配慮は

総務課長 機関との連絡体制の強化



きたがわ えつこ
北川 悦子

一般質問

答 身体障害者手帳所持者930人、療育手帳所持者197人、精神障害者保健福祉手帳所持者308人で、登録者の割合は51%。

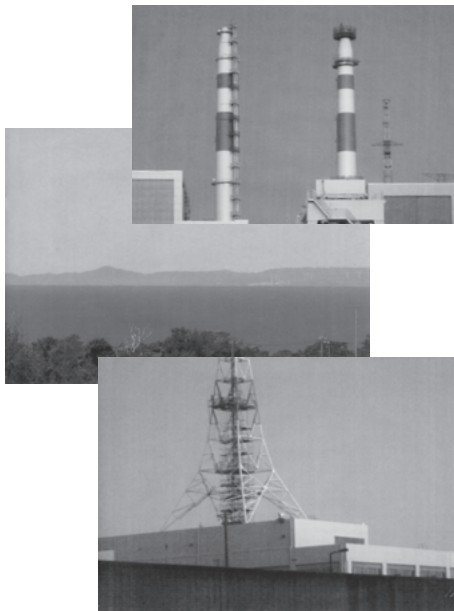
問 能登半島地震から1年8ヶ月。被災当時、障害のある人の避難所への避難はなかったと聞いている。町内の障害者手帳所持者数と災害時の避難行動要支援者登録者の割合を問う。

答 指定福祉避難所と協定を締結し、個別訓練を継続して実施するようにお願いする。災害時に円滑な連携がとれるよう、関係機関との連絡体制の強化に努める。

問 ※町指定の福祉避難所は4カ所ある。人員不足や受け入れが難しいという話も聞く。果たして災害時に機能できるのか。町として配慮しているか。



内灘温泉保養館（白帆台）



展望台から見える志賀原発

志賀原発

問 町総合公園の展望台から志賀原発をみることでできる。昨年の能登半島地震では志賀原発1、2号機とも設計上の想定を超えた揺れが観測された。北陸電力が再稼働に向けた審査のため、規制委員会に提出している資料では、想定される活断層は最大で96キロ。今回の地震は長さ150キロにおよぶ活断層の動きが原因と言われている。

答 安全だったはずの福島原発。東日本大震災で福島を忘れないと言っている。北陸電力が再稼働に向けた審査のため、規制委員会に提出している資料では、想定される活断層は最大で96キロ。今回の地震は長さ150キロにおよぶ活断層の動きが原因と言われている。

問 公共施設の女子トイレに生理用品を置いてほしい。（役場庁舎から）

答 生理用品の数量や品質、衛生管理に課題がある。他市町の事例を参考に調査研究する。

その他の質問

※町指定の福祉避難所
特別養護老人ホーム
夕陽ヶ丘苑、うちなだ
福祉作業所（うちなだ
の里）、内灘の風、内灘
温泉保養館の4カ所。



ふくしま せいいち
福島 誠一

防災士の育成と組織の強化を 新たに町防災士会を編成 町長

一般質問



活動する防災士（町総合防災訓練）

問 町ではこれまで地域の防災リーダーを担う防災士の資格取得を推進し、今では多くの防災士が活動している。学校単位で行う町総合防災訓練、さらには実際に災害が生じた場合、普段から横のつながりをもっていることで、地域の枠を超えた連携が期待ができる。防災士の組織強化と、指導・育成体制の充実を求める。

答 中断していた町防災士連絡会を、次年度に向けて新たに町防災士会として再編し、組織体制を見直す。累計150名となる防災士相互の情報共有や研さんの場を設けるとともに、消防団や各種関係機関との連携強化を図り、地域防災力の向上につなげていく。組織づくりを支援し、防災士の組織力強化と人材育成の充実にさらに取り組む。

問 2年ぶりに公営内灘海水浴場が再開し、海辺は賑わった。海水浴場開設中、町、県、関係機関が連携して海岸の安全管理につとめたが、8月9日、監視エリア外において外国人の水難事故が発生した。海岸に訪れる外国人の比率が目に見えて増加している背景もあり、多言語でインパクトがあって効果的な注意喚起ができないか。

内灘海岸 多言語で注意喚起を

答 海水浴場の開設期間中は、安全に海水浴を楽しんでいただけるように監視員を常設したほか、日本語と英語による海浜利用に関するルール等の注意喚起の看板を設置した。海岸での安全を確保し、事故なく楽しんでいただくため、多言語による分かりやすい看板の増設を含めて効果的な啓発方法を検討する。



ナダビー監視台

その他の質問

問 来シーズンに向けて海水浴場エリア外や営業時間外の事故対策を。

答 多言語対応の啓発チラシなどを内灘駅や観光案内所等に備え置き、SNSを活用した周知方法も調査研究する。



にし お 西尾 ゆう じ 雄次

被災宅地の防草取組に助成策を 町長 助成制度創設に向け進める

一般質問

問 地震によって家屋が損壊し、公費解体された土地は、放置していれば短期間のうちに草が繁茂する。集落内の多くの場所がそうになると景観を著しく害し、住環境に深刻な問題が生じる。除草による良好な住環境の確保は大切な課題だ。防草シート等の設置で住環境の保全に努めている方々に対し助成策を講ずるべきではないか。

答 地震から数か月経過した早い頃から、被災地区の区長及び町会長から、公費解体が進んでいくと被災地区では空き地が増加し、雑草の繁茂による周辺の環境悪化等、住民生活に影響が出ていることを心配する声を聞いていた。被災住宅等跡地の防草対策費の助成については、被災者支援と景観保全のために助成制度創設に向けて前に進める。



公費解体後の空き地

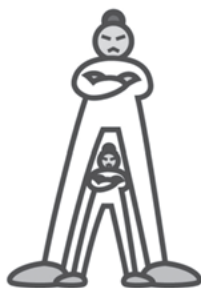


待たれる遊水地（調整池）

「豪雨浸水対策の検討」

問 金沢市では8月6日午後9時から7日午後4時までに降雨量342ミリと観測史上最大の雨量を記録した。これは、例年8月の月間雨量の1・8倍に当たるものだった。この線状降水帯が少し内灘側にずれていたならば、本町は甚大な豪雨被害に見舞われる状況にあった。砂丘地の内灘町は、地域特性を生かした豪雨対策を研究すべきだ。

答 8月7日は本町でも未明から朝にかけて排水ポンプの能力を超える豪雨となった。このような集中豪雨による浸水被害を抑制するため、雨水の保水機能を補う役割として、洪水調整用の遊水地等も有効な手段の一つだ。今後、地域特性を生かした遊水地等の整備など、全国の先進事例を調査し、雨水排水対策の強化に向けて検討する。



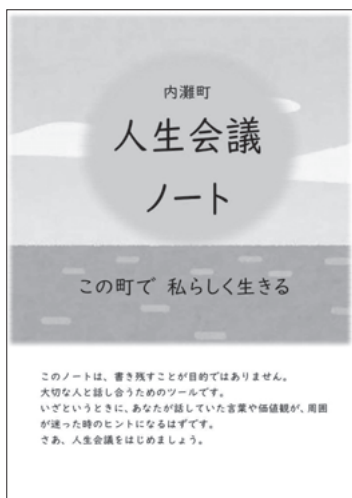
大橋兄弟



つちや かつゆき
土屋 克之

終活関連情報を登録する制度の導入を 現在、考えていない

町民福祉部長



町の人生会議ノート

問 一度、令和5年3月会議に質問している。
町の答弁は、「75歳以上の独居高齢者などの方々に、緊急連絡先や医療及び介護の情報を記入する用紙を入れた救急医療情報キットを配布している。この中に終活関連情報も一緒に保管することなど今後検討する」と必要ないとの判断だった。2年半がたったが、何か進展はないか。

答 従来のとおりだが、救急医療情報キットによる緊急連絡先などを伝える取り組みに加え、令和6年度から※**人生会議ノート**を配布し、生前の話し合いの重要性について啓発している。
また、医療や介護関係者などの多職種での支援体制の構築を図っていることから、現在のところ終活登録制度の導入は考えていない。

内灘海岸・放水路回遊空間整備構想の先駆け



千鳥台2丁目からの眺望

問 ※内灘海岸・放水路回遊空間整備構想とは。

答 基本方針①「回遊性やアクセスの向上」として、内灘海岸と河北潟放水路を結ぶ海岸賑わい創出道路などを整備。
(②、③は下記)

問 その内灘海岸賑わい創出道路の重要な真ん中辺りから見上げるのが、千鳥台2丁目の町道だ。

そこで、海岸・放水路回遊空間整備構想の先駆けの意味と防犯の意味を込めて、その区間の電柱の照明を設置することと、朽ちたアカシアの木の防風林を整備する考えはないか。

答 防犯面の観点から照明施設は今後検討する。アカシア林の整備は、民有地のため難しい。

※人生会議ノート

厚生労働省が普及・啓発する「もしものときのために、あなたが望む医療やケアについて、前もって考え、家族等や医療・ケアチームと繰り返し話し合い、共有する」ためのノート。

※内灘海岸・放水路回遊空間整備構想

基本方針

①「回遊性やアクセスの向上」として、内灘海岸と河北潟放水路を結ぶ海岸賑わい創出道路などを整備。

②「内灘らしさを活かしたスポットの充実」として、放水路のり面でのジップライン等のアクティビティ体験施設のほか、釣りやグランピングなどのアウトドア体験施設の整備。

③「賑わい創出のための取り組み」として、撮影スポットの整備や大規模イベントの誘致・開催、外国人観光客の受け入れ体制の充実等を推進。



いとう 満
東藤 満

プール授業を民間に 町長 試行を含め検討していく

一般質問



プール授業を民間委託に

問 小中学校クラスあたりのプール年間授業数は、また年間維持管理費、修繕費はいくらか。

答 小学校は年間8時間から10時間。中学校は、1、2年生が6時間、3年生は水泳の授業は行っていない。
小中学校全体の年間維持管理費は約150万円。小規模な修繕は約150万円。

問 プールの授業を民間に委託してはどうか。

答 安全管理体制や指導体制の整備、移動手段の確保等の課題があるが、教職員の多忙化改善や児童生徒が専門的指導を受ける機会を提供でき有効性も大きい。
学校外の施設を利用した水泳授業など、民間委託の試行も含めた検討を進めていく。

災害時の連携は

問 8月の大雨の際、災害時協定を締結した2社との連携はどのようなものだったのか。

答 業者からは気象状況が悪化した際に支援の必要性を確認する連絡があり、いつでも資機材の貸出準備可能な状況であることを確認している。

問 町では水中ポンプを何台保有しているか。また、ポンプ購入補助、助成金の創設の考えは。

答 現在、役場庁舎で水中ポンプ3台、発電機5台、消防本部で水中ポンプ3台、発電機5台を保有している。
水中ポンプ購入に対する補助制度は、先進的な事例を参考にしながら早急に検討する。

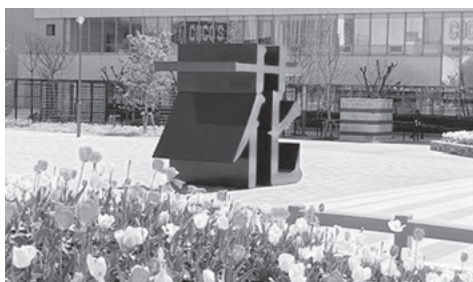


水中ポンプに補助を（向粟崎被害地）

その他の質問

問 内灘海岸にオブジェを設置し、QRを貼り付け、町の歴史などが見られるようにしてはどうか。

答 内灘海岸・放水路回遊空間整備構想に、撮影スポットとなるオブジェの設置を盛り込んだ。関係機関との協議を進めた。



内灘海岸にモニュメントを（例：東京都江東区）



なかむら
中村

さとし
聡

いのち 町民の生命を守るクーリングシェルターを 検討していく 町民福祉部担当部長

一般質問



公民館をクーリングシェルターに

問 各地区公民館を、クーリングシェルターとして活用すべきだ。他市町では熱中症対策の一環で、クーリングシェルターとして指定している。孤独・孤立対策にも寄与し地域コミュニティの活性化にも役立つはずだ。また、ホールにエアコンを設置していない公民館に対し、町独自の補助制度を創設する考えはあるか。

答 公民館をクーリングシェルターとして指定することは町民の安全・安心につながるかと認識しているが、光熱水費の負担増加等が懸念されるため、公民館内でエアコンが設置されている部屋の活用を今後検討する。

ホールのエアコン設置に対する町独自の補助制度創設は検討していない。活用可能な補助制度の情報収集に努める。

災害用手押しポンプ設置

問 災害用手押しポンプの設置は、能登半島地震による断水で生活用水を利用できない不便さを味わった我が町において絶対必要だ。住民の目につくところに設置することは、安心感の創出、見せる防災につながる。身近な小さな安心を醸成する取り組みとして、いざというときに役に立つ災害用手押しポンプの設置を。

答 国のガイドラインでは、防災拠点施設や指定避難所などで補助的な水源を確保するため、既存の井戸や湧き水の活用を優先的に検討している。町で手押しポンプを整備するには、適切な設置場所の選定や維持管理といった課題があり、今後他市町を参考に調査研究していく。



手押しポンプは必要なのは

その他の質問

問 緊急避難所を遠隔操作で解錠できる装置、システムが必要ではないか。

答 国庫補助や県基金の活用と併せ、電気や通信が途絶しても解錠できるシステムの導入を進める。

突撃!

街かどインタビュー

大正ロマンの響き

町の団体シリーズ②⑧

本日の参加者は、総勢13人中10人でした。入会20年以上のベテランさんもおいでます。



今回は宮坂公民館で練習に励む**大正琴協会**の皆さんにインタビューしました。
(代表・脇田篤子さん)
前回インタビューの竖琴や今回の大正琴と、ほかにオカリナ演奏者の皆さんが集まりハマナスフレンドズとしても活動しています。



譜面と向き合う代表・脇田篤子さん（右端）

◆皆さんの入会のきっかけは何ですか。

○最初に聞いた布施明さんの「シクラメンのかほり」が忘れられませんか。私の心にトレモロの音色が響き渡りました。(大正琴のトレモロとは、ピックを小刻みに動かして、細かい音を連続して奏で出す演奏方法)

○同じように、私は演歌でした。大好きな演歌が、大正琴の力強い重厚な音色で演奏され、やっぱり心に響き渡りました。

○私は介護施設に勤めています。以前に勤めていた施設でのことですが、高齢の婦人と仲良くなりました。施設の職員と入居されている人生の先輩・婦人の関係は、残念ながら数年しか続きませんでした。彼女の趣味だった大正琴が形見として、ずっと私の手元にあったのですが、ある日、やってみたいと思い立ったのです。

○私は親の世代の皆さんに喜んでほしかったからです。懐かしんで聞き入ってくれる様子が、本当にとっても嬉しかったものです。

◆有松先生(ハマナス楽器)に大正琴の魅力を聞きました。

○大正琴の楽譜は、数字譜と呼ばれる、音の高さを数字や点などで表しています。譜面とボタンを合わせると、簡単に正しい音が出せるようになっていて、やってみようかなという入口は広がっています。でも、やってみると奥は深いのです。



ハマナスフレンズの皆さん

◆町や議会に望むことはありますか。

○内灘町文化芸術祭(令和7年は11/15～11/19開催)の芸能発表会は、私たちだけでなく多くの愛好会の目標の場所です。開会式を行ったり、役場職員や議員の皆さんにもっと来てほしいです。

◆大正琴の音色は、大正ロマンという言葉が浮かぶ和洋折衷な心に響く音色です。練習に打ち込む真剣な表情に、皆さんの生きがいと情熱を感じることができました。

インタビュー 土屋克之

編集後記

能登半島地震から1年9か月。この日、自助・共助の大切さを改めて認識させられました。災害時の議会、議員の行動規範となる、内灘町議会業務継続計画(議会BCP)を昨年6月に策定し、それに基づき、9月28日に大根布小学校下にて行われた内灘町総合防災訓練に参加しました。当日は、災害時の安否確認・情報収集・議会災害対策会議設置訓練を実施しました。

多くの町民の皆さんにご参加いただきました。皆さんの真剣な眼差しを見ると、町民の安心・安全に寄与できるよう、私たち議員もより真剣に取り組んでいかねばならないと身が引き締まる思いでした。

〔委員長 中村 聡〕

広報対策特別委員会

委員長	中村 聡
副委員長	土屋 克之
委員	北川 悦子
委員	西尾 雄次
委員	福島 誠一